

処理方式の比較・検討結果について

資料1

大項目	中項目	小項目	評価の着目点	整理番号	配点(重み付け)	評価方法	単位	ストーカ式		流動床式	ガス化溶融方式		バイオガス+焼却処理(コンバインドシステム)		評価基準	
								灰埋立	灰資源化		残さ埋立	残さ埋立	灰埋立	灰資源化		
										シャフト式						流動床式
ごみを安全かつ安定的に処理できる施設	安全性	防災面への対応	ガス漏れや爆発、火災対策がとられているか。	1	4	定性評価	評価	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	対策及び実績十分:◎, 満足レベル:○, 一部不安有:△	
		非常時の対応	非常時の対策はとられているか。	2	4	定性評価	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		対策及び実績十分:◎, 満足レベル:○, 一部不安有:△
		事故・トラブル事例	過去10年程度において、事故・トラブル事例はあるか。	3	4	定性評価	評価	◎	◎	◎	○	△	○	○		
		労働安全衛生性	作業環境対策はとられているか。	4	3	定性評価	評価	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎		作業環境悪化事例ほぼ無し:◎ 作業環境対策可能, 作業環境悪化事例有り:○ 費用多大又は不可能:△
	信頼性	連続稼働実績	連続稼働実績はどうか。	5	3	定量評価	日	354	354	227	270	308	148	148	120日以上達成:◎, 90日以上達成:○, 90日未満:△	
		建設実績	過去10年間の建設実績はどうか。	6	4	定量評価	件	44	44	1	16	14	0	0		ランク付けによる評価
		安定稼働	ごみ質変動への対応	幅広いごみ質に対応可能か。	7	4	定性評価	評価	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	
			処理不適物	処理不適物はどのようなものか。	8	4	定性評価	評価	○	○	○	◎	○	○	○	少ない:◎, 標準的:○, 多い:△
	運転管理の難度		難度の高い専門技術が必要か。	9	3	定性評価	評価	◎	◎	◎	○	○	○	○	比較的容易:◎ 標準的:○ 専門技術必要:△	
	システムの簡略化		機器点数はどの程度か。	10	4	定性評価	評価	◎	◎	○	△	△	△	△		平均より少ない:◎, 平均:○, 平均より多い:△
	補修の頻度		主要機器等を補修する頻度はどの程度か。	11	3	定性評価	評価	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	少ない:◎, 平均:○, 多い:△	
	適切な環境保全対策を講じた施設	公害防止性	公害防止性能	公害防止基準を満足できるか。	12	10	定性評価	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎		基準以上達成可能:◎ 基準程度達成可能:○ 法規制値程度達成:△ 評価基準における基準値(日乃出清掃工場の実績より設定)
			排ガス量	排ガス量はどの程度か。	13	4	定量評価	m ³ N/h	64,620	64,620	72,698	68,518	57,929	63,388	63,388	
		排水量	排水量はどの程度か。	14	3	定量評価	m ³ /日	40.5	40.5	38	39.3	39.3	81.3	81.3	ランク付けによる評価	
							評価	◎	◎	◎	◎	◎	△	△		
温暖化負荷		温室効果ガス発生量	二酸化炭素排出量はどの程度か。	15	8	定量評価	t-CO ₂ /年	3,359.37	3,364.04	2,038.66	35,085.96	23,232.58	6,706.03	6,710.39	ランク付けによる評価	
							評価	◎	◎	◎	△	○	◎	◎		
						評価点	24	24	24	8	16	24	24			

大項目	中項目	小項目	評価の着目点	整理番号	配点(重み付け)	評価方法	単位	ストーカ式		流動床式	ガス化溶融方式		バイオガス+焼却処理(コンバインドシステム)		評価基準	
								灰埋立	灰資源化		シャフト式	流動床式	灰埋立	灰資源化		
								残さ埋立	残さ埋立	残さ埋立	残さ埋立					
資源の循環とごみの持つエネルギーの有効利用に優れた施設	省エネルギー	資源・エネルギー消費量	助燃剤使用量, 電力使用量等ほどの程度か。	16	3	定量評価	GJ/年	50,063	50,131	49,303	232,767	114,875	80,922	80,985	ランク付けによる評価	
							評価	◎	◎	◎	△	○	◎	◎		
							評価点	9	9	9	3	6	9	9		
	再資源化性	物質回収量	メタル, スラグ等の物質循環が図られる回収量はどの程度か。	17	2	定量評価	t/年	0	6,656	239	7,534	2,560	0	6,213	ランク付けによる評価	
							評価	△	◎	△	◎	○	△	◎		
							評価点	2	6	2	6	4	2	6		
		処理残さの資源化	焼却灰, 溶融スラグ, 溶融飛灰の資源化に係る実現可能性はどの程度か。	18	2	定性評価	評価	△	◎	△	△	△	△	◎	需要多, 実現可能性高又は当該品目資源化無し: ◎ 標準的:○ 需要少, 逆有償又は全量資源化できない可能性有り:△	
							評価点	2	6	2	2	2	2	6		
							評価	△	◎	△	△	△	△	◎		ランク付けによる評価
	エネルギー回収量	エネルギー回収量はどの程度か。	19	4	定量評価	GJ/年	96,041	96,041	100,781	24,041	24,041	78,672	78,672			
						評価	◎	◎	◎	△	△	◎	◎			
						評価点	12	12	12	4	4	12	12			
最終処分負荷	最終処分量	最終処分量はどの程度か。	20	4	定量評価	t/20年	322,787	178,100	297,348	203,548	238,521	310,607	175,555	ランク付けによる評価		
						評価	△	◎	△	◎	○	△	◎			
						評価点	4	12	4	12	8	4	12			
経済的に優れた施設	支出分コスト	施設建設費	施設建設費はどの程度か。	21	10	定量評価	億円	226.000	226.000	226.000	247.000	245.000	291.000	291.000	ランク付けによる評価	
							億円	134.210	134.210	133.885	188.454	183.743	170.060	170.060		
							億円	0.000	29.067	0.000	0.000	0.000	0.000	27.129		
							億円	48.886	23.900	38.857	25.706	28.188	44.100	23.719		
		億円	409.096	413.177	398.742	461.16	456.931	505.16	511.908							
		評価	◎	◎	◎	○	○	△	△							
	収入分コスト	資源売却収入(20年間)	売電収入	発電量のうちのどの程度売電可能か。売電収入はどの程度か。	25	4	定量評価	億円	-75.205	-75.205	-78.917	-18.825	-18.825	-89.766	-89.766	ランク付けによる評価
								金属, スラグ売却収入	26	億円	0	0	-1.921	-0.211	-3.156	
		計	収入分コストの合計はどの程度か。	25-26	億円			-75.205	-75.205	-80.838	-19.036	-21.981	-89.766	-89.766		
					評価			◎	◎	◎	△	△	◎	◎		
	コスト合計				21-26	—	億円	333.891	337.972	317.904	442.124	434.95	415.394	422.142	—	
	コスト変動対応	コスト変動対応力	補助燃料等コスト変動に係る影響による処理経費の安定性がどの程度であるか。	27	3	定性評価	評価	○	○	○	△	○	○	○	小さい:◎ 標準的:○ 大きい:△	
							評価点	6	6	6	3	6	6	6		
	建物の大きさ	建築面積	建物面積はどの程度か。	28	3	定量評価	m ²	6,400	6,400	6,400	6,900	6,900	12,800	12,800	ランク付けによる評価	
							評価	◎	◎	◎	◎	◎	△	△		
評価点							9	9	9	9	9	3	3			
合計					100		273	289	253	208	205	218	234			